

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月31日

上場会社名 日本プロセス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成26年4月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	3,785	3.5	244	28.5	271	24.3	152	33.2
25年5月期第3四半期	3,657	19.6	190	414.3	218	222.3	114	456.9

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 159百万円 (34.0%) 25年5月期第3四半期 119百万円 (434.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	27.51	—
25年5月期第3四半期	20.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	8,762	92.8	8,127	89.0		
25年5月期	9,139		8,133			

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 8,127百万円 25年5月期 8,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	15.00	—		
26年5月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	1.3	340	7.4	385	5.0	215	3.1	38.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	5,745,184 株	25年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	200,134 株	25年5月期	200,092 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	5,545,083 株	25年5月期3Q	5,545,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出は横ばいとなっているものの生産は緩やかに増加しており、企業収益は大企業を中心に改善が進んでおります。また、政府の各種政策や日本銀行の金融対策の効果により円安や株高基調が継続し、景気回復が確かなものとなることが期待されている一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を押し下げるリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、受注環境においても案件が増えてきており回復しつつあります。一方、人材のリソース確保は困難になってきております。

こうした環境の中、当第3四半期連結累計期間において、当社は、得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野、新規顧客を発掘することや、前期より継続してソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供すること、などに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,785百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は244百万円（前年同期比28.5%増）、経常利益は271百万円（前年同期比24.3%増）、四半期純利益は152百万円（前年同期比33.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、電力業界全体として開発量の減少傾向が継続していることや海外システム案件の受注単価が下落しているため、担当機能の拡大やオフショア開発による原価低減など改善に努めましたが、売上高、利益ともに前年を下回りました。

自動車の制御システムは、次世代自動車向け電動化システムの開発などが堅調に推移しました。また、新たな顧客からエンジン制御のソフトウェア開発案件を受託しました。しかし、一部車載情報システム関連は開発内容が従来の制御システムから組込システムに変わってきたため、自動車の制御システム開発全体としては、売上高が前年を下回ることとなりました。

この結果、売上高は624百万円（前年同期比22.3%減）、セグメント利益は120百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

(交通システム)

交通システムでは、新幹線の運行管理システムは、延伸についてのシステム開発は横ばいで推移したものの全体としては開発サイクルが一巡し、さらに在来線の運行管理システムも開発案件が減少傾向にあり、売上高、利益ともに前年を大幅に下回りました。

この結果、売上高は325百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期49百万円の利益）となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、当期より新たに受託した危機管理関連は、設計フェーズから製造フェーズに移行したため体制が拡大し堅調に推移しました。また、同じく当期より受託した資源管理関連では、水資源案件は横ばいだったものの衛星画像案件が堅調に推移しました。しかし、特定情報システム全体では、前期に危機管理分野の大型システム開発が終了したため、売上高、利益ともに前年より減少しました。

この結果、売上高は360百万円（前年同期比31.2%減）、セグメント利益は92百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、スマートフォンのプラットフォーム開発は機種数の減少により売上高が減少傾向にあります。一方、前年より開始した車載情報システムの開発は、従来からの案件が堅調に推移し、新たに受託した海外自動車メーカー案件の体制が拡大したことなどで、売上高は前年より大幅に増加しました。また、ストレージデバイスの組込システム開発は横ばいで推移し、当期より受託した半導体生産管理のシステム開発も横ばいで推移しました。また、新規に電子部品・半導体関連企業からの開発案件も受託しました。

この結果、売上高は828百万円（前年同期比38.2%増）、セグメント利益は210百万円（前年同期比83.7%増）となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、非接触ICカードシステムの開発やETC向けシステム開発は減少傾向にあるものの、新たな官公庁向けシステム開発を受託したことや、次世代の駅務機器システム開発が好調に推移したことなどで、売上高は前年より大幅に増加しました。

また、産業向けも、スポーツ関連のシステム開発が製造フェーズに移行し中国大連のグループ会社でオフショア開発を進めたことなどで、売上高は前年より大幅に増加しました。

この結果、売上高は965百万円（前年同期比54.2%増）、セグメント利益は233百万円（前年同期比52.3%増）となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は顧客の商品開発の減少やオフショア化により減少傾向にあります。このため、引合が多い構築業務にシフトを図っておりますが、技術教育を目的としたオーバーアサインや受注単価低減などで、構築・検証業務では売上高、利益とも前年より減少しました。また、保守・運用業務は会計システムが好調に推移し、その他は概ね横ばいに推移したことにより、売上高、利益ともに前年より増加しました。

この結果、ITサービス全体としては、売上高は680百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は124百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて377百万円減少して、8,762百万円となりました。この主な要因は、納税及び賞与支払いにより現金及び預金が減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて371百万円減少して、634百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円減少して、8,127百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上により剰余金が増加したものの、配当金の支払いにより剰余金が減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、92.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年7月8日公表の平成26年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,046,936	1,983,011
受取手形及び売掛金	1,842,682	1,558,823
有価証券	1,503,257	1,404,008
仕掛品	90,651	198,289
原材料	562	562
繰延税金資産	213,780	123,900
その他	60,240	180,366
流動資産合計	6,758,110	5,448,961
固定資産		
有形固定資産	236,389	233,941
無形固定資産	31,279	20,747
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,264	2,093,181
その他	256,864	965,529
投資その他の資産合計	2,114,128	3,058,711
固定資産合計	2,381,797	3,313,400
資産合計	9,139,908	8,762,362

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,348	57,034
未払法人税等	226,286	2,869
賞与引当金	427,879	285,423
その他の引当金	17,929	25,901
資産除去債務	6,071	—
その他	223,559	195,471
流動負債合計	948,074	566,699
固定負債		
引当金	54,952	61,323
その他	3,008	6,973
固定負債合計	57,960	68,297
負債合計	1,006,035	634,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,490,666	4,476,871
自己株式	△175,248	△175,287
株主資本合計	8,128,675	8,114,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,197	12,523
その他の包括利益累計額合計	5,197	12,523
純資産合計	8,133,872	8,127,365
負債純資産合計	9,139,908	8,762,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	3,657,535	3,785,074
売上原価	2,913,828	3,036,025
売上総利益	743,706	749,048
販売費及び一般管理費	553,446	504,585
営業利益	190,259	244,462
営業外収益		
受取利息	18,815	20,475
保険解約返戻金	6,107	4,120
その他	3,506	3,457
営業外収益合計	28,429	28,054
営業外費用		
その他	428	1,218
営業外費用合計	428	1,218
経常利益	218,260	271,298
特別損失		
固定資産除却損	1,069	2,504
投資有価証券評価損	10,940	—
特別損失合計	12,009	2,504
税金等調整前四半期純利益	206,250	268,794
法人税、住民税及び事業税	111,187	26,362
法人税等調整額	△19,460	89,874
法人税等合計	91,727	116,236
少数株主損益調整前四半期純利益	114,523	152,557
四半期純利益	114,523	152,557

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114,523	152,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,829	7,326
その他の包括利益合計	4,829	7,326
四半期包括利益	119,352	159,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,352	159,883
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	803,635	398,836	524,249	599,548	625,895	705,368	3,657,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	803,635	398,836	524,249	599,548	625,895	705,368	3,657,535
セグメント利益	186,251	49,984	138,811	114,436	153,422	119,522	762,429

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,657,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,657,535
セグメント利益	△572,169	190,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△572,169千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,446千円及びその他△18,722千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	624,304	325,946	360,567	828,678	965,232	680,346	3,785,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	624,304	325,946	360,567	828,678	965,232	680,346	3,785,074
セグメント利益又は損失(△)	120,817	△7,077	92,961	210,176	233,660	124,601	775,141

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,785,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,785,074
セグメント利益又は損失(△)	△530,678	244,462

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△530,678千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△504,585千円及びその他△26,092千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	503,486	△18.4
交通システム	333,023	△4.5
特定情報システム	267,605	△30.6
組込システム	618,501	+27.5
産業・公共システム	731,571	+54.8
ITサービス	555,744	△5.1
合計	3,009,933	+4.0

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	568,522	△23.1	96,614	△17.4
交通システム	431,545	△8.3	146,686	△47.9
特定情報システム	354,539	△25.4	99,640	+16.5
組込システム	799,218	+42.3	99,792	+22.6
産業・公共システム	914,195	+40.5	149,823	+15.0
ITサービス	636,832	△3.8	78,361	△18.9
合計	3,704,853	+4.1	670,917	△15.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	624,304	△22.3
交通システム	325,946	△18.3
特定情報システム	360,567	△31.2
組込システム	828,678	+38.2
産業・公共システム	965,232	+54.2
ITサービス	680,346	△3.5
合計	3,785,074	+3.5

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	1,163,131	31.8	868,243	22.9
株式会社東芝	395,215	10.8	525,758	13.9
日立オートモティブシステムズ株式会社	405,324	11.1	412,122	10.9

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。